



Smile

第 27 号

JCHO 群馬中央病院
看護部 卒後臨床研修担当
発行責任者 小沼久美
2020年2月28日(金)

新人看護職員が入職して10ヵ月が経ちました。皆様の御協力により卒後臨床研修の集合教育も残すところあと2回となりました。ローテーション研修も終了し、各病棟では新人看護職員が夜勤に入り1人のスタッフとして看護業務を実践していると思います。しかし、新人看護職は助言を受けて実践できるレベルが目標です。まだまだ見守りは必要なので、引き続き暖かいご指導をよろしくお願い致します。

輸血の基礎知識



ディスカッション 看護倫理



医療安全 メンバーシップ



NIPPV



退院支援



災害時の看護



クリスマス会



安全な人工呼吸器



薬剤管理③



ディスカッション 看護職としての役割



今後の予定
2月 ディスカッション&ナラティブ
3月 修了証書授与



研修生の感想



- ・輸血の看護を実施したことがなかったため、今後は積極的に経験していきたい。
- ・患者のプライバシーや患者への態度について改めて考えることができた、気を付けて行動したい。
- ・病院内、特にナースステーションからの情報漏洩のリスクを再確認することができた。
- ・退院支援は患者の退院後の生活を援助していくうえでとても重要なことだと思った。
- ・災害はいつ起きてもおかしくないから普段から備えておきたい。
- ・改めてインスリンの内容や効果、自己注射の支援について学ぶことができた。
- ・人工呼吸器の装着方法、手順を復習し実際に自分でも行えるようにしていきたい。
- ・自分にとっての患者について振り返ることで改めてどのように患者と接していきたいか考えることができた。
- ・自分の性格を知ることによってどのような長所、短所があるかわかった。
- ・実際にNIPPVを経験して、患者さんにとって苦痛の多いケアであると思った。必要だからこそ治療を受け入れてもらえるような説明など改めて考えたい。